

春光懇話会会報
Wave21

2021.11

No. 178

特集 わが社の環境・社会貢献



<http://www.shunko.jp>

トップインタビュー



春光会23社の社長にご登場いただき、ご自身のプロフィールを語っていただきます。生い立ち、お若い頃の思い出、会社生活のこと等々、いろいろとお伺い致します。今回は日産自動車 内田社長にインタビューさせていただきました。よろしくお願い致します。

日産自動車 社長 内田 誠

生年月日 1966年(昭和41年)7月
出身地 東京都
出身校 同志社大学神学部
略歴 1991年 日商岩井株式会社入社
2003年 日産自動車株式会社入社
2014年 プログラム・ダイレクター
2016年 常務執行役員
2018年 専務執行役員
東風汽车有限公司 取締役総裁
2019年 代表執行役社長兼最高経営責任者
東風汽车有限公司 取締役(現職)
2020年 取締役、代表執行役社長兼
最高経営責任者(現職)
趣味 音楽(ギター)、映画鑑賞、ジョギング

——幼少時代は海外で過ごされたと同じました。どのような生活を送られましたか。

出身は東京ですが、父親の転勤で、小学校1年から5年までエジプトで過ごしました。当時のエジプトは、日本人が非常に少なく日本食は全くなかったですね。家からピラミッドが見える環境で、この時に人生観が変わるような体験をしたように思います。その後、一旦大阪に戻り、中学2年から5年間、マレーシアに行きました。日本人学校を選ぶのが一般的ですが、「これからはグローバル化だ」という父の考えもあり、インターナショナルスクールに通いました。高校2年で日本に戻るまで、ほぼ海外での生活でした。

——幼少期の海外生活はご苦労も多かったのでは。

当時は英語もそれほど話せませんでしたので、非常に苦労しました。インターナショナルスクールに入ったときが転機でしたね。日本人が少なく、英語も日常会話レベルだと、なかなか友達もできません。当時、皆が憧れていたスポーツはアメリカンフットボールでしたので、アメフト部に入り、そこで友人関係を築いていきました。当時14、15歳でしたが、この時に異なる文化に順応していく経験をしたことが、自分自身のグローバルな人間形成に繋がったのではないかと考えています。

——帰国後はご苦労もあったのでは？ どのような学生生活を送りましたか。

高2の途中で日本に戻りましたので、帰国子女を受け入れてくれる全寮制の高校に入り、その後、同志社大学に進みました。海外生活に馴染み過ぎたせいか、日本に戻ってきた時は苦労しましたね。海外の学校では、中学生から学びたいことを自らが選んで自己形成していく環境にありましたが、日本では、ある程度決められた枠組みの中で集団として生活していく。どちらがいい悪いではなく、両方の経験ができたことは自分にとって財産になったと思っています。

大学では神学部を選択しましたが、これは、海外生活が大きく影響していると思います。日本に比べ海外では個人における宗教の存在は大きく、なぜそこまで重要なのだろーと思っていました。そんな素朴な疑問から学んでみようと思ったのがきっかけです。神学部での学びは非常に大きかったのですが、神学部から、企業等に就職するのは全体の10%位でしたから、就職活動はとて苦勞しました。

——社会人経験は商社からスタートされたそうですが、日産自動車入社までの経緯を教えてください。

実は最初は、証券マンになりたかったんです。しかし、証券会社の人に自分のやりたいことを話したところ、「君のやりたいことは商社だよ。君は商社に向いている」と言われ、その後、総合商社に絞って試験を受けました。当時、総合商社は非常に人気があり狭き門でしたが、縁あって日商岩井(現 双日)に入社することができました。

入社後、機械部門に配属され、海外プロジェクトをマネージする仕事を担当しました。初出張がエジプトだったのは奇遇でした。その後、自動車部門に配属されフィリピンに駐在。1998年に帰任してからは商社の横断的な仕事を任されました。当時はインターネット化が進展し、商社の価値が問われる時代に入っていました。そんな中、自分自身もグローバルに力を発揮できる場所がないか考えたのが、2003年、37歳の時です。転職はリスクがあると言われていた時代でしたが、これまで接点のあった自動車関連の仕事をやりたいという気持ちが芽生え、ルノーと提携した日産自動車一般公募をしていることを知り、門を叩いたのが2003年10月でした。

——日産入社後はどのような仕事をされましたか。

最初は購買部門です。ルノー・日産共同購買というルノーとのアライアンス組織に2012年まで所

属していました。その後、ルノーに出向となり、韓国のルノーサムスン自動車で会社の改革やプログラム・ダイレクターという責任者として、商品プロジェクトに携わりました。2014年に日産に戻ってからは、ダットサンブランドのプログラム・ダイレクターに任命され、その後、2016年に購買担当役員、2018年に中国合弁会社の総裁を経て、2019年12月に社長に就任しました。それぞれ短いスパンですが、この間、日産の社員でありながら、ルノー社員の立場、様々な事業を抱える合弁企業トップの立場等、幅広い経験をさせていただきました。

——商社から自動車メーカーへの転職で感じた違いや印象に残ったことがあれば教えてください。

商社は様々な事業がありますが、各組織の規模はあまり大きくはなく、それぞれが一つの会社のようになっています。日産に来てまず驚いたのは組織が巨大かつ縦割りであることでした。メーカーならではのものづくり部門の仕事のやり方にも大きな違いを感じ、この組織に順応して頭角を現せないと将来は難しいと危機感を覚えました。一方で、日産はダイバーシティが進んでいて、例えば私のように商社出身、神学部専攻のユニークな人間でも昇進には全く影響がない。自分のパフォーマンスをきちんと可視化できなければなりません。会社に貢献する人財であれば、きちんと評価してくれる。私のような外様の人間が社長になったのも、多様性を受け入れる文化があったからだと思います。

——これまでのご経験で印象に残っていることや、経営者としてのモットーはありますか。

韓国のルノーサムスン自動車に出向したときは苦労しました。自分は海外経験が豊富だという自負はあったのですが、会社が厳しい状況にあったこともあり、価値観が異なる人たちと一丸となって進んでいくことの難しさを実感しました。これはその後、総裁として赴任した中国の合弁会社でも同じでした。現地の方は、「この人は会社の発展のために全てを捧げる気持ちがある人なのか」をよく見ている。「この会社のためにやってくんだ」という覚悟や会社にもたらす価値を見せないと、人は絶対についてきてくれない。そういう経験ができたのは非常に大きかったと思っています。

何ごとにも透明性を持って、まず自分をさらけ出す。そして相手を尊重し、信頼関係を築いていく。これが私のモットーです。私は、現場を預かっている人の声は8割正しいと思っています。残りの2割はマネジメントがきちんと方向性をガイドしていく。ですから、まずは現場の意見をよく聞くことが重要です。マネジメントでよくあるケースですが、一つは、「結論を言え」とすぐに聞いてしまうこと。もう一つは、意思決定すべき時に「決定するための十分な材料がない」と判断しないこ



◀エジプトで過ごした小学校時代

▼20代で初めて買った日産のフェアレディZ



と。10聞かないと決めないというのではなく、5を聞いて残りの5は託す。それで何かあったら、自分が責任を取るぐらいのマインドセットでやらないと、社員は混乱しますし、機会損失にもつながる可能性がある。まず、事実をきちんと認識して、意思決定のスピードを意識することを心掛けています。

——仕事を離れてリフレッシュする方法は？

音楽が好きで、土日は気分転換にギターを弾いたり、映画を見たりしています。映画は主人公と自分を重ねて、自分もこうなりたいと思ったり、頑張ろうという気持ちにもなりますし、オン・オフのいい切り替えになりますね。体を動かすことも好きなので、時間があるときは自宅周辺を走ったり、散歩したりしています。体も頑張ってると思いますよ。

——最後に若い人たちにメッセージを。

知らないことを恥ずかしがらず、自分をさらけ出してみてください。いろいろなことに興味を持って、体で感じて、それを自分の強みにしていくということが重要だと思います。これからの企業は、利益を追求するだけでなく、社会や人々のためにどうあるべきかが問われる時代です。それが企業価値につながっていく。皆さんがいろいろなことを経験して自己形成していくことが、強い会社をつくることに繋がっていくと思います。そして、人との生のコミュニケーションを意識してほしいですね。メールは便利なツールですが、話してみるとメールの内容とは少し違っていたり、メールの文面は素晴らしいのに、直接話すと意思の疎通がづらいということがあります。コロナの影響や働き方の変化で仕事の仕方も変わってきていますが、人が会社を形成していることに変わりはありません。Face to Faceの会話とデジタルのバランスをとって、人とのコミュニケーションを大事にしてほしいと思います。



2021年度 会員総会に代えて

春光会・春光懇話会会長 日立製作所名誉会長

川村 隆

私は春光会および春光懇話会の会長を2019年9月以降拝命している日立製作所名誉会長の川村です。両会の昨今の情勢下における活動状況およびその考え方につき、会員のみなさま方に一言ご説明を申し上げたくて筆を取った次第です。

春光会および春光懇話会は、戦前の日本産業(株)傘下の企業やその関連会社を中心となって活動している親睦団体です。それぞれの企業の創業時などに一緒に苦勞をしており、企業の遺伝子が近いという共通項の下に今も集っているのです。今は必ずしも資本関係の繋がりを持たない企業の方が多くなり、それぞれ自由な企業活動をしている訳ですが、この春光での活動には今日的意味合いが幾つもあります。

まずは、会長・副会長・会員会社の役員から構成される「事業協議会」が活動の中核なのですが、ここを起点として成される人脈形成は、社外取締役の選定、あるいは多様性のある人材の長期・短期移動などにおいて大変役に立ちます。社外取締役選定では資本関係にある会社同士では不可であったり、意味が少なくなったりしますが、現在の春光会の中では相互の資本関係は薄いいため、その心配は少なくなっています。また、職種も情報産業から機器製造、エネルギー、材料産業、水産加工、金融・保険と多岐に渡っており、この多様性を活用できる事はこれからの世の中において大きな意味を持つものです。

今後のポストコロナ時代では、新しい重荷を背負わされた後ですから、国同士も企業同士も以前より競争が激しく厳しくなります。企業はCX(コーポレート・トランスフォーメーション)により従来型経営からの脱却を図り、その為の手段の一つとしてDX(デジタル・トランスフォーメーション)も活用して、経営者や社員の多能化・働き方改革を図ることになるでしょうから、春光会・春光懇話会の企業の中に先行例が出るのであればその企業とのコラボにより改革のやり方を導入することは、大変重要な事項になります。加えて、取締役会のあり方などガバナンスについてとか、女性や外国人の採用・活用事例だとか、国連のSDGsなどの実施事例などの導入も同じことです。

これらの情報の在処(ありか)とか所有している人材などの内容は、春光懇話会の事業協議会、あ

るいは春光社長会への参加により得られます。これまでの事業協議会実施例では、UDトラック社「自動運転」、日産化学社「SDGs対応環境保護、ミツバチにやさしい殺虫剤開発」、日立建機社「AI活用 建機見守りサービス」など多くの事例が事業協議会で発表されていますし、また春光社長会では、「経営陣への新コーチング…エグゼクティブ・コーチング」「ハイパフォーマンス睡眠法」などこれ又多くの事例が講演されています。

さらに、事業協議会の支援活動を行う会として「営業部会」があり、現在87社が加入し、各社の部長クラスを中心に交流を行っています。現在および今後の主要テーマは、顧客の頭の中でまだはっきりとはしていない「ポストコロナ時代に欲しい商品・サービス」を顧客との討論の中で具体化して示してあげること、かつ、従来よりも広範囲の顧客への適用を図ることです。顧客の要望内容は、ほとんどの場合、1社の事業範囲に収まらないでしょうから、そこで春光グループの数社が協力して対応できれば大いに今後に繋がります。

また首都圏ばかりではなく、国内外各地域の春光懇話会も活動をしております。国内では52か所の地域懇話会があり、また、海外でも28か所があります。地域懇話会内での情報交換、親睦に加えて、数社が共同作業として地域自治体対応とか顧客対応をできるようになると素晴らしいと思います。

新型コロナウイルス感染症問題が、完全には落ち着いたくない現状では、春光会活動も春光懇話会活動も大幅圧縮した形にせざるを得ず、関係のみなさまには大変ご迷惑をおかけしていると存じます。しかし感染症が一段落した暁には、ポストコロナの新しい形の経済活動を目指して各社が一斉スタートをします。春光会・春光懇話会活動が少しでもその新しい企業形態形成に貢献できるようみなさまとともに頑張りたいと考えます。よろしく願い申しあげます。またこの時期に資本の持主であった親会社から独立されて外に出て活動される会社も多くなると思います。その折にも上記の種々のメリットが社長さんや中堅管理職のみなさまにおよぶことをご勘案のうえ、春光会・春光懇話会の所属は続けられることを推奨申し上げます。

春光会会員名簿 2021年11月現在

会社名	役職	氏名
(株)日立製作所	会長 社長 副社長 ◎名誉会長	東原 敏昭 小島 啓二 北山 隆一 川村 隆
日産化学(株)	会長 社長	木下 小次郎 八木 晋介
SOMPOホールディングス(株)	社長 顧問	櫻田 謙悟 高橋 薫
損害保険ジャパン(株)	◇会長 社長	二宮 雅也 西澤 敬二
日産自動車(株)	○社長 副社長	内田 誠 坂本 秀行
ENEOSホールディングス(株)	会長 社長 特別理事 特別理事 名誉顧問 名誉顧問 ○名誉顧問	杉森 務 大田 勝幸 木村 康 内田 幸雄 西尾 進路 高萩 光紀 松下 功夫
ENEOS(株)	社長	大田 勝幸
JX石油開発(株)	社長	細井 裕嗣
JX金属(株)	社長 Iグセキティブフェロー	村山 誠一 大井 滋
日本水産(株)	社長 相談役	浜田 晋吾 的埜 明世
日油(株)	社長 特別顧問 特別顧問	宮道 建臣 大池 弘一 小林 明治
(株)ニチレイ	会長 社長	大谷 邦夫 大嶺 顕也
日立造船(株)	会長 社長 顧問	谷所 敬 三野 禎男 古川 実
日立金属(株)	会長兼社長	西山 光秋
昭和電工マテリアルズ(株)	社長	丸山 寿
UDトラックス(株)	社長	酒巻 孝光
日立建機(株)	社長 相談役 名誉相談役	平野 耕太郎 辻本 雄一 木川 理二郎
三菱HCキャピタル(株)	会長 社長 ◇特別顧問	川部 誠治 柳井 隆博 三浦 和哉
(株)日立ハイテク	社長 相談役 名誉相談役	飯泉 孝 宮崎 正啓 久田 眞佐男
日産車体(株)	社長	吉村 東彦
(株)日立物流	社長 名誉相談役	中谷 康夫 鈴木 登夫
SOMPOひまわり生命保険(株)	社長	大場 康弘
(株)NIPPO	会長 社長 相談役	岩田 裕美 吉川 芳和 水島 和紀

[注] ◎会長 ○副会長 ◇幹事

春光懇話会会長・副会長 2021年11月現在

	会社名	役職	氏名
会長	(株)日立製作所	名誉会長	川村 隆
副会長	日立造船(株)	顧問	古川 実
	ENEOSホールディングス(株)	名誉顧問	松下 功夫
	(株)日立製作所	副社長	北山 隆一
	損害保険ジャパン(株)	会長	二宮 雅也
	三菱HCキャピタル(株)	特別顧問	三浦 和哉
	日本水産(株)	相談役	的埜 明世
	(株)ニチレイ	会長	大谷 邦夫
	日産自動車(株)	社長	内田 誠

事業協議会会員名簿 2021年11月現在

会社名	会員名	
(株)日立製作所	執行役常務 長谷川 雅彦	アドバイザー 内藤 理
日産化学(株)	取締役副社長 宮崎 純一	取締役常務執行役員 吉田 洋憲
損害保険ジャパン(株)	専務執行役員 桑田 憲吾	常務執行役員 青木 潔
日産自動車(株)	専務執行役員 田川 丈二	理事 渉外担当役員 後藤 収
ENEOSホールディングス(株)	常務執行役員 椎名 秀樹	
ENEOS(株)	常務執行役員 井上 啓太郎	常務執行役員 椎名 秀樹
JX石油開発(株)	取締役 副社長執行役員 中原 俊也	取締役 常務執行役員 白井 智
JX金属(株)	執行役員 小松崎 寛	執行役員 諏訪邊 武史
日本水産(株)	取締役常務執行役員 山本 晋也	執行役員 馬場 太郎
日油(株)	取締役兼常務執行役員 美代 眞伸	常務執行役員 石黒 秀史
(株)ニチレイ	取締役執行役員 竹永 雅彦	取締役執行役員 田邊 弥
日立造船(株)	常務取締役 芝山 直	執行役員 石川 英司
日立金属(株)	執行役常務 田宮 直彦	執行役 増田 久己
昭和電工マテリアルズ(株)	執行役員 石井 義人	執行役員 高松 明彦
UDトラックス(株)	バイスプレジデント 櫻井 浩司	バイスプレジデント 金丸 隆宏
日立建機(株)	執行役常務 豊島 聖史	執行役常務 先崎 正文
三菱HCキャピタル(株)	専務執行役員 竹本 雅雄	常務執行役員 大橋 芳和
(株)日立ハイテク	専務執行役員 唐澤 和男	常務執行役員 加藤 仁
日産車体(株)	取締役 専務執行役員 小滝 晋	CCO 牛込 正明
(株)日立物流	執行役専務 佐藤 清輝	執行役常務 萩原 靖
SOMPOひまわり生命保険(株)	取締役副社長執行役員 吉川 浩一	取締役執行役員 中原 徹
(株)NIPPO	代表取締役 執行役員副社長 有重 哲	取締役専務執行役員 宮崎 匡弘

新製品・新商品 紹介

日産車体

2021年10月20日発売 「キャラバン」 ガソリン車をマイナーチェンジ

当社が生産する「キャラバン」は、ワークユースのみならず、レジャーや趣味などを楽しむお客さまからも好評をいただいています。今回の変更では、フロントグリル&バンパーのデザインを刷新し、よりダイナミックな印象に。特別塗装色として、日常使いでのボディの擦りキズや塗装劣化を防ぐ「スクラッチシールド」を採用しました。

内装は、黒を基調に落ち着いた雰囲気を出し、運転席回りの装備やシート形状の変更により質感も大幅に向上させています。また、安全性能のさらなる強化で、全車「セーフティ・サポートカーS<ワイド>」の対象となりました。



写真は、バンに新設定の最上級グレード「GRAND プレミアムGX」。ボディカラーには、ミッドナイトブラック他全3色を追加。先進安全技術として新たに全車標準装備とした「インテリジェント エマージェンシーブレーキ（衝突被害軽減ブレーキ）」は、歩行者の検知も可能です。

問合先 ☎0463(21)8001

※ガソリン車の車名が「NV350キャラバン」から「キャラバン」に変更となりました

ヤシマキザイ

抗菌・抗ウイルスコーティング剤「リキッド-YAM-R」「ルーム-YAM」、除菌剤「リキッド-YAM（除菌用）」を販売

YAM技術(*1)を応用した抗菌・抗ウイルスコーティング剤「リキッド-YAM-R」「ルーム-YAM」及び、除菌剤「リキッド-YAM（除菌用）」を販売しております。

「リキッド-YAM-R」「ルーム-YAM」をコーティングすることにより、抗菌・抗ウイルス効果が得られます。コーティングの効果は1回で約1年間持続し、暗所でも効果があり、無機系なので安全にご使用いただけます。

(*1)YAM(Yashima Ag Material)技術とは、ナノサイズの銀とチタンから成る複合素材により、明所暗所に関係なく抗菌・抗ウイルス作用が発揮される技術です。

■3つの特徴

1.用途に合わせたラインナップ

抗菌・抗ウイルスコーティング剤はエアゾール缶タイプと液体タイプを、除菌剤は液体タイプをご用意しております。

2.抗菌性能

「リキッド-YAM-R」「ルーム-YAM」は、SIAAに登録されております。

SIAA(抗菌製品技術協議会)とは、適正で安心できる抗菌加工製品の普及を目的とし、抗菌剤・抗菌加工製品のメーカー、試験機関が集まってできた団体です。

3.安全性について

本製品に使用しているYAM技術は、様々な試験を実施し安全性を確認しております。鉄道車両内や駅構内、ホテル、大規模商業施設、レジデンス、オフィスなどで幅広くご使用いただいております。



抗菌・抗ウイルスコーティング剤「ルーム-YAM」

試験項目	試験動物など	試験結果	試験機関名
急性経口毒性	マウス	LD ₅₀ 5000mg/kg 以上	日本食品分析センター
皮膚一次刺激性	ウサギ	無刺激性	日本食品分析センター
変異原性	大腸菌 サルモネラ菌	陰性	日本食品分析センター
皮膚感受性	モルモット	陰性	日本食品分析センター
食品衛生法溶出試験	ひ素・鉛・他	合格	高分子素材センター

※試験機関が製品の効果及び安全性を保証するものではありません。
 ※抗菌・抗ウイルスは空間内の菌・ウイルスを減少させるものではありません。
 ※すべての菌・雑菌・ウイルスへの効果を保証するものではありません。
 ※実際の使用方法及び使用環境において同様の性能を保証するものではありません。

製品の詳しい内容については、こちらをご覧ください。

https://www.yashima-co.co.jp/ja/business-solution/pickup/pickup_yam2.html



問合先 総務部 ☎03(4218)0096

営業部会だより

詳しくは営業部会HPをご覧ください
<http://www.shunko.jp/eigyoeigyobukaitop.html>

2021年10月～12月 第22回春光懇話会キャンペーン展開中!

春光懇話会営業部会の「ビジネス交流強化キャンペーン」は今年で22回目を迎えることになりました。これもひとえにみなさまの温かいご支援、ご協力の賜物と心から感謝申し上げます。

昨年来、コロナウイルスが世界中に蔓延している状況にあり、会員各社様の営業活動にも大きく影響が出ていることかと存じます。キャンペーンに関しましても決起大会など集合形式会合ができない環境であり、開催につきましては検討を重ねましたが、最終的にはコロナ時代の新たな営業スタイルを志向するために実施させていただくこととしました。

春光懇話会企業の総力を結集させ、新しい時代の営業活動を進めることでこの難局を乗り越えて行きましょう。

キャンペーンは大きく以下の3点を主眼にして取り組んでいます。

1. 会員企業間でお互いのビジネス拡大を図ること
2. 会員企業の商品を数多くご利用いただき、その良さを知っていただくこと
3. グループ企業の従業員とご家族のみなさまに広く春光懇話会を知っていただくこと

第22回キャンペーンの具体的な取り組みは次の通りです。

1. 春光懇話会のHPを約15年ぶりに大幅に改訂しました。これにより会員企業がPRを希望する商品や業務内容についてタイムリーに掲載していただくことができるようになりました。会員各社様には改訂されたHPを大いにご活用いただき、自社商品の販売拡大につなげていただきますようお願いいたします。
2. 春光懇話会をより多くの方に幅広く知っていただく目的で春光クイズを実施していますが、今回も継続します。クイズにご応募いただくことにより、正解者の方にパンフレット裏面掲載の会員会社提供の素敵な賞品が抽選でプレゼントされます。クイズ応募要領ならびに問題はパンフレット11ページの下段に記載していますのでご確認の上、ご本人ならびにご家族のみなさまからご応募をよろしくお願いいたします。



新 会 員 会 社 紹 介



株式会社 日立社会情報サービス

(日立製作所グループ)

Hitachi Social Information Services, Ltd.

当社は、大規模システム開発で培った幅広い業務知識と先端技術を生かして、お客さまの課題を解決する「システムインテグレーション事業」、お客さまとともにITサービスマネジメント (ITSMS) を確立・改善し、運用現場の課題解決を支援する「システム運用サービス事業」、お客さまのニーズに対応する多彩なパッケージ製品、および業務に特化したソリューションを提供する「パッケージ・ソリューション事業」を展開しています。日立グループのITソリューションを担う企業として、公共・社会・金融・産業ヘルスケアといった社会全般の分野において、デジタル技術とお客さまとの協創によりデジタルソリューションを提供することで、お客さまの三つの価値（経済価値、社会価値、環境価値）を高め、持続可能な社会の実現とQuality of Lifeの向上に取り組んでまいります。

代 表 者 代表取締役取締役社長
松谷 淳

資 本 金 5億円
本 社 〒140-0013

東京都品川区南大井

6丁目26番3号

大森ベルポートD館 17階

☎03(5471)2345

<https://www.hitachi-sis.co.jp/>

業務内容 システムインテグレーション事業
システム運用サービス事業
パッケージ・ソリューション事業



代表取締役取締役社長
松谷 淳

特集 わが社の環境・社会貢献

多くの企業が取り組んでいるSDGsやESG経営。最近、みなさんもよく聞く言葉ではないかと思えます。その一部でもある環境対策や社会貢献、慈善活動、ボランティアの活動などさまざまな各社の事例について紹介します。

日油

薬用ハンドソープおよび医療用マスクの寄贈

兵庫県尼崎市に立地している当社尼崎工場は、1910(明治43)年の創業以来、蓄積された技術力と伝統を背景に、我が国の油脂文化の発展に貢献しております。製造品目は、硬化油、脂肪酸、グリセリン等の各種油脂製品、それらの油脂製品および石油化学製品を原料とした油剤製品と多岐にわたり、優れた製品を製造しております。これらの製品には、石鹼の原料も含まれ、石鹼メーカーに対して、原材料の供給に加えて配合処方案の提案も行っております。

そこで、2020年に新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた支援策の一環として、地域の保育園、幼稚園および小・中学校の感染症予防にお役立ていただくため、当社独自の配合処方に基づく薬用ハンドソープを当社の従業員がデザインしたボトル計約13,000本に充填し、当社の拠点が所在する兵庫県尼崎市、西宮市および愛知県武豊町に寄贈いたしました。

た。当時は、消毒剤、石鹼等の手洗い用品が慢性的に不足していたため、園児の手洗いにも困っていた保育園および幼稚園の関係者の方々には、特に喜んでいただきました。

また、同じく2020年に医療現場において不足が懸念されている医療用マスクについて、緊急用に備蓄していた「N95マスク」および「DS2マスク」計約43,000枚を当社の拠点が所在する神奈川県川崎市、愛知県武豊町、兵庫県尼崎市、西宮市および大分県大分市に寄贈いたしました。

寄贈先の各自治体からお礼のお言葉を頂戴し、感謝状およびお礼状が贈呈されました。

今後とも、地域に根差した活動を数多く実施し、社会に貢献していきたいと考えております。



▲薬用ハンドソープを寄贈いたしました。

ENEOS童話賞

ENEOSホールディングスは、毎年、「心のふれあい」をテーマとするオリジナル創作童話を小学生から一般の方まで幅広く募集し、優秀作品を顕彰しております。

1970年、宅配灯油のお客さまへのプレゼント用として発行した一冊の童話集がきっかけとなり、1973年から創作童話作品を公募し、その中から優秀作品を童話集「童話の花束」にまとめて発行する活動を半世紀以上にわたり続けています。

52回目となった本年度は、小学生以下、中学生、一般の部の合計で約19,000編ものご応募をいただきました。

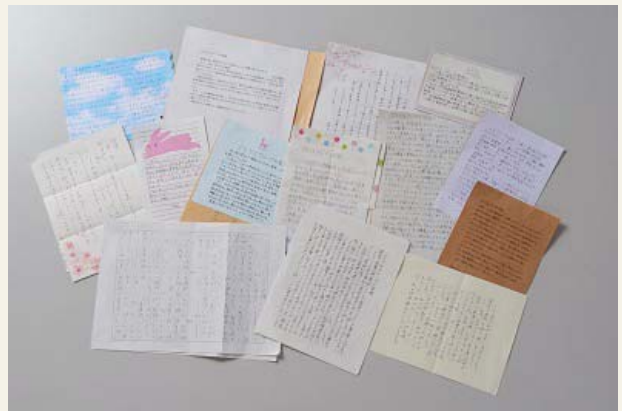
「童話の花束」は、ENEOSグループのサービスステーションを運営する特約店やLPガス特約店のみなさまにお買い上げいただくほか、ENEOSグループ各社とその役員・従業員にも販売しています。その売上金のすべてを全国社会福祉協議会に寄付し同協議会が運営する「ENEOS奨学助成制度」を通じて、児童福祉施設などで暮らす子どもたちの大学や専門学校への進学支援を行っています。2020年度までの助成者数は合計約7,200名となっています。

また、「童話の花束」の制作にあたっては、環境保全活動の一環として森林整備の中で生じた間伐材を製紙原料の一部に使用しています。

当社は、今後もENEOSグループの行動基準の一つである「市民社会の発展への貢献」のもと、次世代の育成・支援や環境保全の取り組みを推進するとともに、国連「SDGs(持続可能な開発目標)」の「目標1:

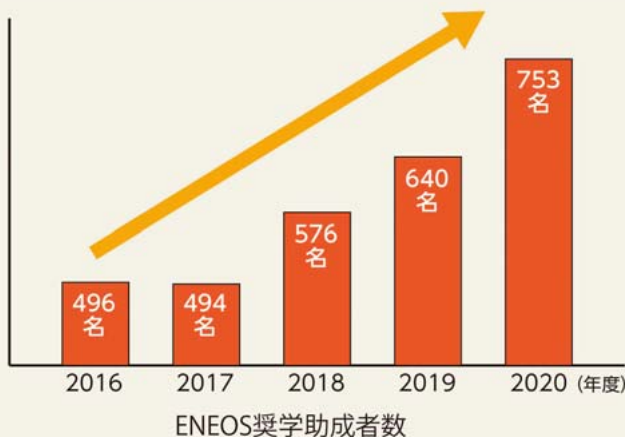


▲童話集「童話の花束」



▲助成を受けた子どもたちからの感謝のお手紙

「目標4: 質の高い教育をみんなに」、「目標10: 人や国の不平等をなくそう」、「目標15: 陸の豊かさを守ろう」の実現に貢献してまいります。



グループで取り組む 持続可能な地球環境への貢献

日立ハイテクグループでは、SDGsを踏まえ、自社の事業を通じ社会課題解決のために取り組むべき重要課題を特定しており、その1つである「持続可能な地球環境への貢献」では、「脱炭素社会の実現」、「循環型社会の実現」、「自然共生社会の実現」に向けて環境活動を推進しています。

「日立環境イノベーション2050」に基づき、2030年度までに自社事業所のCO₂排出ゼロの実現をめざし、グループ各拠点の使用電力を順次、再生可能エネルギーに切り替えるなどの取り組みを進めていますが、2020年6月には、医療機器の部品などを製造する日立ハイテク九州（福岡県大牟田市）が、新電力会社や電気自動車への切り替えなどを行い、日立グループとして初めて事業活動に必要なエネルギーをクリーンエネルギーに100%転換、CO₂排出ゼロを達成しました。

2021年3月に竣工した日立ハイテクの製造拠点である那珂地区マリンサイト（茨城県ひたちなか市）も、建物に自然光や風を取り入れる省エネ設計の工夫をはじめ、再生可能エネルギーの利用と太陽光パネルの設置など、竣工当初からCO₂排出ゼロ、脱炭素社会の実現に取り組んでいます。自社の環境負荷軽減だけでなく、環境配慮設計とライフサイクルア



▲年間1,000メガワットを発電できる太陽光パネルを屋上に設置（日立ハイテク那珂地区マリンサイト）



▲工場内に設置した充電スタンドでEV車を充電（日立ハイテク九州）

セスメントを導入した製品開発プロセスにより、設計・開発段階や製品使用の段階においても消費電力を削減できるなど、環境に配慮した製品を増やすことでバリューチェーンを通じたCO₂排出量の抑制にも貢献しています。

分析機器を製造する日立ハイテクサイエンスでは、富士小山事業所（静岡県駿東郡）内に整備した「日立ハイテクサイエンスの森」で、地域在来の植物を活用した広葉樹林化、ススキ草地の再生や外来植物の駆除などを実施し、4,000m²におよぶ樹林に約50年をかけて生態系を回復させる活動を行っています。2020年12月には、その継続的な取り組みが評価され、JHEP認証*の更新で評価ランク最高位となるAAA評価も取得しています。

今後も日立ハイテクグループはグループ一丸となって、持続可能な地球環境への貢献に向けて取り組んでいきます。

*米国内務省が開発した基準認証であるHEPの日本版として、公益財団法人日本生態系協会が生物多様性の保全や回復に貢献する取り組みを定量的に評価・認証する制度



▲上空から見た日立ハイテクサイエンスの森



▲日立ハイテクサイエンスの森における生態系保全活動

教育への貢献

小学生向け「オンライン工場見学」と「出前授業」が好評

小学校5年生が社会科で学ぶ「日本の工業」、その代表として取り上げられるのが「自動車産業」です。当社では、地域に密着した工場として、小学生に自動車産業への理解を深めてもらいたいと考え、約20年前から年間を通して受け入れを行ってきました。実際の自動車生産ラインを間近で見ることで、実体験を通して「クルマづくり」への理解を深めてもらえます。コロナ禍以前は年間約27,000人、工場のある神奈川県・西湘地域を中心に県外からも約300校の児童が来場しました。

コロナ禍の現在は、来場が難しくなりましたが、2020年11月より、無料ビデオ通信アプリで学校の教室とつなぐ「オンライン工場見学」をスタートしました。手づくりの動画教材でクルマができるまでの内容を配信しながら、プラントアテンダントが生解説。なるべく工場見学の臨場感を味わっても

らえるように、問いかけや質問コーナーを充実させ、双方向のやり取りも活発に行っています。

「当初は、通信接続トラブルもありましたが、現在は数日前に相互の通信状態を確認する事で、改善が図れています。北は北海道、南は沖縄の離島など、参加校の地域が広がり、学校のある地域出身の従業員が挨拶するなど、子供たちに親しみを持ってもらえる工夫もしました。この工場見学が子供たちの記憶に残り、日本の工業に関わる夢を抱くきっかけになってもらえるように、これからも、この歩みを止めることなく教育の機会を提供し続けていきたいと思います。」と、平田和宏館長。

工場のある平塚市内の小学校へは、訪問による「出前授業」も行い、オンラインクラスと合わせて200校、約15,000人を超える参加が2021年度の計画です。



▲左から、館長の平田和宏さん、プラントアテンダントの市川亜美花さん、野崎香緒里さん。「日産圏集合研修で、チームワークの良さが評価されました」と野崎さん



▲明るい笑顔とノリの良い解説で、すぐに子供たちの心をつかんでしまう市川さん



▲出前授業の様子（神奈川県・平塚市立なでしこ小学校）

日立物流グループの環境対応

1. 日立物流グループの事業と環境課題

日立物流グループは、国内・海外29か国で物流センターや輸送事業を展開しています。

主要な環境課題として、物流センターでの電気使用、輸送作業で燃料使用により、大量に発生している温室効果ガス（CO₂）の排出量削減が気候変動対応として求められています。また、廃段ボール、海洋汚染の原因である廃プラスチックなど物流過程で発生する包装廃材の再資源化などの資源循環にも大きな責任を有しています。

2. 日立物流グループの環境対策

毎年度、環境負荷低減の方針に基づき、エネルギー削減、環境負荷の小さい物流・サービスの提供などの行動計画を展開しています。さらに、世界課題である気候変動対応のため、CO₂削減中長期目標（国内自社事業所でのCO₂排出）として設定した2013年度比で2030年度50%削減、2050年度ネットゼロに向けた再生可能エネルギーの使用拡大などの活動を開始しました。

3. 環境対策の取組み例

《事例1》W連結トラック

グループ会社のバンテックセントラルでは、全長21mのW連結トラックを2台導入して運用しています。大量輸送による輸送効率化を実現し、CO₂排出量削減を図っています。



《事例2》再生資源モーダルシフト

廃プラスチックなどのリサイクル素材の運搬に、船舶を利用したモーダルシフト輸送を行っています。2019年度に独自に開発した新型コンテナ（背面・側面・上面開放可能）を新規導入し、積載効率を向上させたことで輸送時のCO₂排出量の30%削減に貢献しています。（「第21回物流環境大賞」において「物流環境特別賞」受賞）



《事例3》環境対応包装

包装技術の継続的な向上に取り組み、お客様の様々なニーズに応えつつ、包装資材・廃棄物の削減、これに伴う輸送効率向上などに貢献しています。

従来の海上コンテナでの出荷では、異形状貨物は平積（非段積）を余儀なくされ、上部スペースにロスが生じていました。既存の高価な鋼材を使用した段積治具はありましたが、リターン運用が前提のため再輸出入の手続きなど煩雑な運用管理が課題でした。そこで、この安価な強化段ボール製のワンウェイ段積治具を開発した結果、積載効率が2倍化、コスト40%低減と輸送時のCO₂削減を実現できました。（2020日本パッケージングコンテスト「経済産業省製造産業局長賞（ジャパンスター賞）」受賞）



化学企業ならではの生物多様性を守る取り組み

日産化学は、生物多様性を守る取り組みを進めています。主力の富山工場でビオトープを運営するほか、各拠点で環境保全活動を展開。工場から排出されるCO₂等の温室効果ガスの削減だけでなく、地域住民とともに地域の環境負荷を減らす活動を推進しています。

例えば、「日産バイオパーク西本郷（富山県）」は2008年に運営を開始し、現在は約2ヘクタールの広さを有します。破壊された環境を元に戻すという考えのもと、生物を育むことを目的とし、メダカやホタルのすみかを守り、地域住民の憩いの場を作りました。ビオトープは日産化学社員やOB、地域住民のボランティア活動によって維持されています。



▲富山工場 ビオパーク



▲名古屋工場 藤前干潟クリーン大作戦

他の拠点でも、生物多様性保全活動を進めており、名古屋工場では藤前干潟の清掃活動、そして小野田工場（山口県）では水質保全をめざした河川の清掃活動や県道への植栽を続けています。袖ヶ浦工場（千葉県）では県が「最重要保護生物」に選定した絶滅危惧種の樹木「ヒメコマツ」を育てています。

これらの活動には、各工場で認証を取得しているISO14001が、2015年度の改定時に生物多様性への取り組みを明確に記載していることが大きく寄与しており、環境マネジメント意識の高まりが生物多様性を守る活動を推進する力になっています。本社の所在する東京でも何かできないかを検討し、今後も活動を広げていくことを目指しています。



▲小野田工場 県道の植栽

再生可能エネルギー発電事業を通じた地域貢献

当社グループは、「環境・エネルギー」を注力領域の一つに掲げて、再生可能エネルギーを主体に、省エネ、蓄エネ、創エネに取り組んでいます。再生可能エネルギー分野においては、太陽光・風力を中心に、発電事業やプロジェクト融資、発電設備のリースなど、さまざまなソリューションを通じて、環境負荷の低減ならびに脱炭素社会の実現に貢献しています。近年では、再生可能エネルギーで発電した電力を地域事業者へ供給するなど、地域社会における再生可能エネルギーへの転換を支援しています。

太陽光発電事業では、2021年5月、当社グループのHGE株式会社において、西武グループの西武アグリ株式会社とともに、太陽光発電とブルーベリーなどの栽培を両立するソーラーシェアリングを行う「所沢北岩岡太陽光発電所」（埼玉県）の運転を開始しました。本発電所は、発電した電力をすべて株式会社ところざわ未来電力に売電、所沢市の公共施設に供給するとともに、西武アグリにおいて、太陽光発電システムの下でブルーベリーおよびワイン用・生食ぶどうを栽培しています。

また、風力発電事業においては、2019年から、当社のグループ会社である、よこはま風力発電株式会社が運営する「横浜町雲雀平風力発電所」（青森県）が、株式会社UPDATERのブロックチェーン技術を活用した電源特定サービスを通じて、神奈川県横浜市内の事業者へ電力を提供しています。横浜市は、2050年までの脱炭素化をめざして、東北地方の市町村と再生可能エネルギーに関する連携協定を締結、再生可能エネルギーの地域間連携を進めており、当社グループの取り組みもその一環であります。2021年からは、同じく当社グループのくろしお風力発電株式会社が運営する「軽米風力発電所」（岩手県）においても、横浜市内の事業者への電力供給を行っています。

今後とも、当社グループは、発電事業を含む再生可能エネルギー事業を通じて、持続可能な社会の実現に貢献していきます。



▲所沢北岩岡太陽光発電所（埼玉県）
左：太陽光発電システム、右：ソーラーシェアリングで栽培されるブルーベリー



▲横浜町雲雀平風力発電所（青森県）

●春光会

○退会

垣添 直也（日本水産）
木村 昌平（日産車体）

●春光懇話会副会長

○就任

的埜 明世（日本水産）

○退任

垣添 直也（日本水産）

●代表者交替

共和真空技術	吉見 学←佐藤 昌昭
SOMPOシステムズ	宮寄 義久←浦川 伸一
日立金属商事	向井 正樹←瀬尾 武久
昭和電工マテリアルズ・テクノサービス	
	矢吹 孝朗←佐藤 信人
PEO建機教習センタ	足立 真哉←西村 洋平
日立ハイテクソリューションズ	
	三浦 英俊←谷口 昌弘
ビルネット	藤澤 達矢←吉住 昌弘

●春光懇話会会員会社

○入会

日立社会情報サービス（21.8.1）

○社名変更（21.10.1）

マクセル←マクセルホールディングス
三菱HCキャピタルオートリース
←日立キャピタルオートリース
三菱HCビジネスリース←日立キャピタルNBL

○退会

昭和電工マテリアルズ・エレクトロニクス（21.9.30）

●地域春光懇話会会長就任

・函館春光懇話会

函館日産自動車 代表取締役社長 亀田 文雄

・山梨春光懇話会

関東日立山梨支社 支社長 池田 信

・静岡県春光懇話会

静岡日立 取締役社長 原 秀樹

・福岡春光懇話会

福岡日産自動車 代表取締役社長 内野 伸一

・カナダ（トロント）春光懇話会

Hitachi Construction Truck Manufacturing Ltd.
Executive Vice President and Director
濱町 好也

・バンコク春光懇話会

Nissan Motor Asia Pacific Co.,Ltd.
Senior Vice President 坂本 雅彦

・マニラ春光懇話会

San Technology Inc. President 森川 孝之

・大連春光懇話会

日立儀器（大連）有限公司 総経理 佐伯 卓哉



わが社と町並み

損害保険ジャパン 群馬支店・群馬自動車営業部

水と緑の豊かな未来へ—芽吹きของ街、前橋市

損保ジャパンは、1990（平成2）年に現在の前橋ビルを竣工しました。この周辺は、徳川幕府重臣の酒井重忠の居城であった前橋城跡地に、群馬県庁や前橋市役所、裁判所などが立ち並び利便性の高いエリアです。

前橋市は、群馬県の中南部に位置し都心から約100km圏内、人口34万人の中核市です。明治期に製糸業を通じて日本の近代化に貢献するとともに、群馬県の政治経済文化の中心として発展してきました。都心へのアクセスの良さと自然災害の少ない立地上、「首都機能バックアップ都市」としても潜在性を備えております。

近年、デジタル最先端技術の導入によるスーパーシティとゆとりある生活を送ることができるスローシティ構想の取組みや民間との連携による都市魅力アップ共創（民官共創）推進事業として前橋ビジョン「めぶく。～良いものが育つまち」を立ち上げました。産業界・教育界・行政が一体となって前橋市の未来のまちづくりや課題解決の取組みに力を入れております。損保ジャパンにおいても、まちづくりの旗振り役である前橋デザインコミッションに参画するなど、地域企業と連携して県民のみなさまの「安心」「安全」「健康」をサポートすべく活動しております。

一方で、赤城山の麓に広がる市内は雄大な自然



市内を流れる利根川と県庁の高さ日本一の群馬県庁



損保ジャパン前橋ビル

に囲まれ、利根川の美しい四季折々の光景を楽しむことができます。近郊には日本三名泉の一つの草津温泉をはじめとする複数の温泉地やゴルフ場、スキー場など観光やレジャーも魅力の一つです。

水と緑に囲まれ、新たに芽吹き始めた前橋市へぜひお越しください。



市街地の中心を流れる広瀬川

損害保険ジャパン群馬支店・群馬自動車営業部

群馬県前橋市本町1-4-4 ☎027(223)5114・027(233)5311